

第 50 回 JALSG 運営委員会議事録

日時：平成 22 年 6 月 19 日（土）

場所：名古屋大学医学部附属病院新中央診療棟 3 階講堂

出席者：運営委員 58 名、委任状 13 名

審議経過：

1) 幹事会報告

1. 効果・安全性評価委員について

大島年照先生が辞退され、後任として朝長万左男先生が就任された。

2. 幹事選考委員会を立ち上げて選考基準、方法を検討する件について

現在の運営委員任期（3 年）・・・2012.6 まで

幹事任期（3 年）・・・・・・2012.3 まで（幹事任期は年度末まで）

代表、副代表、監査役・・・2012.3 まで

- ・“代表・幹事選考あり方委員会”を設置して、選考基準とその方法について検討する。
- ・委員は、宮崎先生、品川先生、今井先生の 3 名。
- ・上記が承認された。

3. 次期 CS-07 研究委員長について

CS-07 委員会より臼杵憲祐先生が推薦され、承認された。

4. 再発・難治および高齢者 AML に対する臨床試験について

・再発・難治 AML、高齢者白血病全体を統括する「難治・再発・高齢者白血病調整委員長」（仮）を設置、宮脇先生をその任に充てる。

・その下に、AML206 PII（薄井先生）、高齢者 AML PI（伊藤先生）、次期高齢者（矢ヶ崎先生）を置き、全体の調整を図る。

・上記が承認された。

5. ハイリスク MDS プロジェクトについて

・宮崎先生を委員長とし、MDS 全般に関わるプロジェクトを総括する。

・特発性造血障害班とも連携を取り、検体収集、介入試験等につき調整して頂く。

・上記が承認された。

2) 会計報告

別紙に基づき大西副代表より説明がなされ、承認された。

3) 次期 APL211 委員、次期 CS 委員について

別紙に基づき説明がされ、委員が承認された。

4) 規約改訂の件

JALSG の日本名称は「日本成人白血病治療共同研究グループ」とし、“規約 付則 1.”が変更された。

5) “GML208 Ph1 プロトコール” の実施施設に 3 施設追加が承認された。

独協医科大学、富山県立中央病院、大垣市民病院

6) 常設委員会報告

・施設審査・監査委員会・・・

関西医科大学が退会。

新参加施設（親）山梨県立中央病院 が承認された。他に関連病院として、日立総合病院、福井県立病院、昭和伊南総合病院の参加が報告された。

2007年にCSが開始されたにもかかわらず、症例登録0の施設が多数ある事より、審査委員会として審査基準の見直しを検討する。

7) プロジェクトの提案

8) 学会発表

・ CML の変異解析 Leukemia Res.に投稿（大西先生）

・ AML201 Blood へ 2 回目

・ ALL97 IJH へ（陣内先生）

・ ALL 染色体（滝先生）

9) その他

・ JALSG 研究の迅速な論文化のため NPO の medical writer を活用する。

・ 次回 JALSG 研修会 2011.1.29（土）

次回班会議 2010.12.18（土）、翌 19 日に日韓合同ミニシンポジウム（仮）開催を計画中